

邇摩高校WEBサイト

https://www.nima.ed.jp/



発行所
島根県立邇摩高等学校
松風会

〒699-2301
島根県大田市仁摩町仁万907
TEL 0854 - 88 - 2220
FAX 0854 - 88 - 4417



松風会会長 大島 淳
(昭和46年3月 普通科第22期卒業)

「コロナで明け暮れた二〇二〇年」

平素より松風会の皆様には母校発展のため物心両面にわたるご支援をいただき、厚く御礼申し上げます。

散々たる1年が終わり、新年も少し経ったところですが、会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。昨年の会報では東京オリンピック・パラリンピックに関わる話を少し紹介させていただきましたが、とんでもないことになり申し訳ございませんでした。コロナ禍での生活に慣れてきた

とは言い、我々の世代は、仕事を退いている方も多く、正直、ストレスを感じている人もたくさんいると思います。

さて、私といえば、ステイホームのさなかウォーキングポール(8本)、趣味の釣りで使用する餌撒きの柄杓、それに最近、家の玄関先まで出没するサル撃退用のゴム銃までも作ってしまいました。そのせいで首から肩まで、ひどい筋肉痛です。「バチ」が当たったかもしれませぬ。

それでもいいこともありました。何でもない日常や気まぐれの経験でさえ、尊いということの気付きができたことです。

最初は春までと言われていた自粛も夏から秋になり、そして年をまたぎ。本当に神経が過敏になってしまいます。感染症対策も新聞やお屋のテレビ番組等で繰り返し言われていますが、結局は自己責任が追及されます。

年末年始なのに孫も友人も来ない苦難は続いています。あと少しの辛抱です。皆さん！近いうちに自由に人と対面できる日が必ず来ることを信じ、元気を出していきましょ。



校長 吉川 靖

『地元を支える力』

松風会の皆様には平素より母校発展のために物心両面にわたるご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年の松風会総会の際に参加者の皆様から石見神楽部にご寄付をいただいたり、大島会長様から代表して同神楽部の全国大会参加にあたって激励金をいただいたりと、生徒の活躍に対し毎年ご支援をいただいております。本当にありがとうございます。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症により、本校の様々な教育活動や県内の高校生の活動、そ

して全国大会までもが大きく影響を受け、これまでにない対応を迫られ、特に3年生にとっては最終学年として思いっきり邇摩高校生として活躍したい年でしたが、思うような活動ができず、残念な思いや悔しい思いをした生徒が多かったのではないかと思います。

邇摩高フエアも、体育祭・文化祭も例年のように開催できませんでしたが、生徒たちの創意工夫した取り組みによって、形を変えながらも何とか開催することができました。卒業生・保護者の皆様

にもこのコロナ禍の中、学校での教育活動は様々な制約があり、このことについてもご理解とご協力を賜り、大きな事故もなくこの1年を終えようとしています。生徒たちのコロナに立ち向かって、問題を解決しながら前に進むという取り組みは、将来の地域を支える力となっていると思います。

今年3年生は就職者の9割以上が地元就職を内定しています。松風会員の皆様には、この地元で活躍しようとしている生徒や、進学して将来地元で働きたいと思っ

ている生徒に対し、先輩としてぜひ引き続きあたたかいご支援を賜りますようお願いいたします。最後にありますが、間もなく120周年を迎える邇摩高校のますますのご発展をお祈りいたします。

邇摩高校コンソーシアムが設立されます

島根県においては、全ての県立高校が令和3年度末までに高校魅力化コンソーシアムを構築することとしています。

本校では、地域貢献ができる人材を育て、その生徒たちとともに、活気のある地域の未来をつくる。をスローガンに掲げ、地域一丸となって邇摩高校を牽引する組織の構築を目指しています。組織は役員会・事務局・5つのワーキンググループで構成され、ワーキンググループを中心に地域連携を進めます。ワーキンググループの1つを紹介いたします。

地域の核となる道の駅「ごいせ仁摩」は邇摩高校生が活躍できる重要なフィールド！有効活用したい！

令和3年秋にオープンする道の駅「ごいせ仁摩」との連携を模索するワーキンググループでは、物産販売所での加工品・商品販売(農業系列、ビジネス系列)、レストランでの食事レシピ考案(生活系列)、屋根付ステージの利用(石見神楽部、吹奏楽部)、施設オープンニングイベントでの生徒司会とイベント企画(生徒会)などを道の駅推進室に提案し協議しています。令和3年の秋、オープンしたら是非お立ち寄りください。



写真で見る 邇摩高生



新型コロナウイルスにも負けず

じんさんてい 仁心祭

文化祭と体育祭を合わせて10月に実施
コロナ対策として来場者を制限して実施



青軍



紫軍



赤軍



借り人競争



徒競走



ペアでリフティング



部活動対抗リレー



文化祭発表はリモート開催



入学式

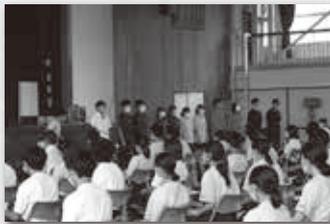
生徒司会による入学式



春遠足は秋へ変更



防災講話でテント組立



オープンスクールで中学生に教える



コロナ対策をした石見神楽部による公演



吹奏楽部クリスマスコンサート

邇摩高校学習成果発表会



(コロナの影響で生徒のみで実施)



吹奏楽部クリスマスコンサート

邇摩高フェア2020



来場者を制限・一部ドライブスルー採用など、工夫して実施した邇摩高フェア2020



支部だより

関東支部だより

追憶

● 中木 順三

昭和43年 普通科卒



まだ頭髪が坊主頭に2センチの18の春。初めての資生堂の整髪料MG5を頭髪にかけ、二階の洋服ダンスの姿見と対峙し頭に櫛を入れてみる。もちろん櫛など2センチの頭髪に役立つわけも無い。初めて着る背広は25,000円でお袋が買ってくれた。エビ茶と白のストライプのネクタイは、何度練習しても上手く結べなかった。

階下からお袋の声、「taxi来たよ」親父が買ってくれた単一乾電池式白いラジオと叔母が営む小さな東芝家電店から電気スタンドを饒別にもらい二つを風呂敷に包んで庭先へ、同級生の近所の美代ちゃん、隣の松田のおばあさんとお袋それに愛犬ベルに見送られ近くに一台しかないイチジtaxiに乗り故郷を後にした。

故郷を離れ早半世紀の時が流れる。都会での生活は月日の経つのを忘れさせる。そんな中で故郷への帰省は唯一私の原点復帰へのリセットとなる。法事に併せて数年ぶりに島根への旅、出雲空港経由でJR出雲駅から二両編成の下り電車に乗車、田儀、大田駅切りから車窓に映る景観が日本海の懐かしさのものに一変するまもなく進行方向左手国道9号線の先に母校を見る。それから20分いよいよ下車駅が近づき最後のトンネルに入る。トンネルを潜ると懐

かしい高校時代の通学乗降駅が出現する事を思うとそれまで平常心だった気持ちが高まり、一挙に50年前へと気持ちタイムスリップする。

到着するも降車する人は私の他に誰もいない。無人改札を通り、迎えてくれる人もいない駅舎に立つ。両親健在の頃は、駅の公衆電話で「今着いた」とお袋に電話したものが、両親はすでに鬼籍、今その公衆電話も無い。駅頭にかつての賑わいは見られず、当時の店舗はみな戸をたてている。無人と思われる家屋の板塀に、大村昆ちゃん的眼鏡をずらしたオロナミンCの看板。並びの板塀には浪花千栄子さんのオロナイン軟膏の宣伝がへばりついている。そんな中慣れ親しんだ風景だけが「よう帰りんさつたな」と無言で迎えてくれる。駅から我が家までは車で約10分だが、30分かけて家まで歩く事を選択する。少しでも時間をかけて思い出に浸りなさいと内なる心が語りかけて来る。

途中寄り道をして浜辺に出て見る。やはりここも誰一人として人影は無い。靴を脱ぎ素足で砂浜を歩くと、足裏にふれる海砂が心地いい。波の寄せでは引くさざなみの音だけが記憶に残るものとたがわず、はるか昔の幼少期を思い出させる。

町の景観はどこどころ様代わりしているが、慣れ親しんだ裏道は今も昔のまま残っていて、歩を進めると突然次から次とめどなく涙が湧いてくる。何の涙か理解の出来ないまま、誰と会う事も無い路地を急ぐ。「故郷は遠きにありて思うもの」室生犀星の歌の一節が心に宿る。そこは確実に年齢を重ねた自分



関西支部だより

わたしの暮らしている町

● 木下 恒男

昭和43年 普通科卒

私は奈良県北葛城郡王寺町で暮らしています。ある民間の調査で昨年日本一暮らしやすい町に認定されました。

近所には舟戸神社があり、もともと(西安寺)という寺院が建っていた遺跡にあたるそうです(本年の初詣にも行ってきました)。

達磨寺もあり日本書紀によりますと、聖徳太子が道のほとりに伏せていた飢人を見つけ、飲み物と食べ物、それに衣服を与えて助けましたが飢人は亡くなり、そのことを悲しんだ聖徳太子は、飢人の墓を作り厚く葬り数日後に墓を確認すると埋葬したはずの飢人の遺体が消えてなくなっていました。



この飢人がのちに達磨大師の化身と考えられるようになり、達磨寺が生まれたそうです。

また駅近くの舟戸児童公園にはSL(D51)が展示され子供たちが遊んでいます。

明神山はハイキングコースとして昨年NHKのプラタモリでも放送されましたが頂上まで上ると山頂からは奈良県側も大阪府側にも眺望が開け想像を絶する眺めが楽しめます。

ちかくの町村には法隆寺、信貴山朝護孫子寺、信貴山城跡、もあります。鉄道網もJR、近鉄が乗り入れ大阪、新大阪、奈良、和歌山、京都方面に便利に利用できます。その交通の便利の良い王寺町に移り

住んできたのは昭和58年、子供が小学校に入学前でした。



その後PTA活動のソフトボール同好会に入会し仕事と日曜日午前中は練習をするようになりました。そのうち県の協会に所属し練習、試合となかなか日曜日休めないような状況でしたが、他のメンバーとの交流も深まりいろいろと会社員、自営業者などいろいろな職業でお互いに話を聞くことができました。自分では、色々な理由をつけて疲れたなどと言っておりましたが、自営業者の方は朝早くから夜遅くまで働いておられる様子を聞き、他の方々も厳しい状況のなかで頑張っておられる様子を聞き、自分の考えの甘さを痛感しその後の仕事に生かされてきたと思います。

60歳過ぎまで審判員やマネージャーをしてチームへの恩返しのため在籍しておりました。今でも親しくしております。

15年位前より休耕田を借りて野菜づくりをしております。春にはまず、草刈りをします。その後、春、秋は午前中まで暑い夏は2時間、3時間の作業で熱中症に注意して作業です。10月は芋ほりをして子供、孫、親戚も含めて16人くらいでわいわい言いながらしていました。去年はコロナウイルスの感染拡大により少ない人数で分散して実施しました。

コロナウイルス感染の大波により2回目の非常事態宣言が首都圏に発令されました。

去年の関西支部総会が中止とされましたが今年または来年までにはコロナウイルスが収束し皆が笑顔で再開できることを祈念しますと共に皆様には健康に留意されお過ごしください。

瀬摩高校Facebook



<https://www.facebook.com/shimane.nimakou/>

瀬摩高校WEBサイトと連動しており、記事をタップすると、瀬摩高校WEBサイトの「お知らせ」に繋がります。緊急連絡も掲載しています。



令和3年度 支部総会について

関東支部総会、関西支部総会は中止します！

新型コロナウイルス感染症の終息が見えないことからやむを得ず中止としました。

- 松風会 関東支部長 来間 哲朗 (S48.3卒)
- 松風会 関西支部長 小橋 泰倫 (S43.3卒)

令和3年度 松風会総会

～新型コロナウイルス感染症の影響で開催ならず～

令和3年2月に予定していた松風会総会・懇親会は、新型コロナウイルス感染症が未だ終息の気配が見えず開催は難しいということで中止としました。

また、松風会会則では総会は年1回開催するとなっていますが、「緊急を要する事項の生じた場合は理事会をもって総会に代えることができる」とあることから、1月15日に開催した理事会を総会に代えさせていただきました。



全国総合文化祭出場報告

私たち石見神楽部は令和元年度の郷土芸能の集いにて「鹿島」という演目で優秀賞を獲得し、「こうち総文祭2020」への出場権をいただきましたが、新型コロナウイルス感染症によりインターネットを通じての開催となりました。

今年度は経験者の先生がおられない中、部員皆でどうすれば全国の方々に石見神楽の面白さが伝わるのかを考えながら練習をしてきました。撮影日は、神舞は一つ一つの動作の意味をしっかりと意識し、合戦の場面では武御名方と武甕槌との力くらべを力強く舞いこなすことができました。

松風会からは激励金をいただきました。ありがとうございました。これからも練習を重ね、観に来てくださる方々に喜んでいただけるような舞台を目指していきますので、応援をよろしくお願いいたします。



令和2年度 松風会年会費会計 決算書

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

I. 収入の部

(単位: 円)

科 目	本年度予算額(A)	決算額(B)	増減(B-A)	備 考
繰越金	2,753,670	2,753,670	0	令和元年度より繰り越し
会 費	720,000	568,000	△152,000	年会費2,000円×283件、納入率78.6%
広告費	40,000	0	△40,000	廃止
計	3,513,670	3,321,670	△192,000	

収入合計 3,321,670 - 支出合計452,777 = 残高 2,868,893

令和2年度 松風会年会費会計について監査を実施した結果、帳簿及び証拠書類とも適正に処理されていることを認め報告します。

令和3年1月12日

II. 支出の部

(単位: 円)

科 目	本年度予算額(A)	決算額(B)	予算残額(A-B)	備 考
会報発行費	280,000	243,979	36,021	会報松風51号、660部
振込手数料	47,000	58,798	△11,798	貯金局会費振込手数料 4月以降、郵送通知料金が上乗せ
繰出金	300,000	150,000	150,000	松風会一般会計へ 支部総会中止により本会計に余力発生
予備費	2,886,670	0	2,886,670	
計	3,513,670	452,777	3,060,893	

松風会監査 塩毛利生 柳洋1月12日
松風会監査 杉原慎二 榎野 石崎敏彦

令和2年度 松風会一般会計 決算書

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

I. 収入の部

(単位: 円)

項 目	本年度予算額(A)	決算額(B)	増減(B-A)	備 考
繰越金	58,185	58,185	0	令和元年度より繰り越し
入会金	282,000	279,000	△3,000	¥3,000×93名
会 費	18,800	18,600	△200	¥200×93名
寄付金	10,000	0	△10,000	
他会計繰入金	300,000	150,000	△150,000	松風会年会費会計より繰り入れ
雑収入	30,015	35,803	5,788	パーティー券売上益、貯金利息他
収入合計	699,000	541,588	△157,412	

II. 支出の部

(単位: 円)

項 目	本年度予算額(A)	決算額(B)	予算残額(A-B)	備 考
会議費	5,000	0	5,000	
旅 費	200,000	0	200,000	関東支部総会、関西支部総会 中止につき執行なし
支部育成費	150,000	141,240	8,760	関東、関西、大田、仁摩、温泉津、江津へ助成
事務費	80,000	73,686	6,314	卒業記念品、高校野球広告料、郵券代
会館管理補助費	70,000	70,000	0	松風会館維持管理会計へ
全国大会激励費	160,000	100,000	60,000	全国高校総文祭(石見神楽部)
予備費	34,000	0	34,000	
支出合計	699,000	384,926	314,074	

収入合計 541,588円 - 支出合計 384,926円 = 差引残額 156,662円(令和3年度一般会計へ繰り越し)

令和2年度 松風会一般会計について監査を実施した結果、帳簿及び証拠書類とも適正に処理されていることを認め報告します。

令和3年1月12日

松風会監査委員 塩毛利生 柳洋1月12日
松風会監査委員 杉原慎二 榎野 石崎敏彦

令和3年度 松風会一般会計 予算書

(令和3年1月1日～12月31日)

I. 収入の部

(単位: 円)

項 目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A-B)	備 考
繰越金	156,662	58,185	98,477	令和2年度より繰り越し
入会金	246,000	282,000	△36,000	¥3,000×82名
会 費	16,400	18,800	△2,400	¥200×82名
寄付金	10,000	10,000	0	
他会計繰入金	200,000	300,000	△100,000	松風会年会費会計より繰り入れ
雑収入	38	30,015	△29,977	貯金利息
合 計	629,100	699,000	△69,900	

II. 支出の部

(単位: 円)

項 目	本年度予算額(A)	前年度予算額(B)	増減(A-B)	備 考
会議費	5,000	5,000	0	お茶代
旅 費	200,000	200,000	0	関東支部総会(2名)、関西支部総会(2名)
支部育成費	140,000	150,000	△10,000	関東、関西、大田、仁摩、温泉津、江津へ助成
事務費	80,000	80,000	0	卒業記念品、高校野球広告料、通信費他
会館管理補助費	70,000	70,000	0	松風会館維持管理会計へ
全国大会激励費	100,000	160,000	△60,000	農業クラブ 他
予備費	34,100	34,000	100	
合 計	629,100	699,000	△69,900	

事務局からの
連絡

会報松風は、遼摩高校ホームページでもご覧いただけます。
年会費の納入に御協力ください。

<http://www.nima.ed.jp/>

